

● 令和6年度開設科目 概要

「鳴門教育大学 幼稚園教諭免許法認定講習」では、現職の先生方向けに実践的で専門性の高い幼児教育についての講習を実施します。

No.	開設科目名	科目の概要	No.	開設科目名	科目の概要
1	幼児と人間関係	幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、保育内容（人間関係）のねらい及び内容について背景となる専門領域（対人関係の心理学理論）と関連させて理解を深めるとともに、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付けます。	6	教育心理学 (発達心理を含む。)	幼児の心身の発達ならびに学習の過程について、基礎的な知識を身に付け、それぞれの発達段階における心理的特性を踏まえた指導の基礎となる考え方を理解します。教育における発達理解の意義を理解することを目指して、心身の発達に関する概念と、言語発達・認知発達・社会性の発達に関する具体的な内容についての考察を行います。
2	幼児と環境	本講習は、幼児を取り巻く自然環境や社会環境を取り上げます。それらをふまえて、幼児の発達における環境にかかわる側面、幼児の環境へのかかわり方などについて理解するとともに、さまざまな現代的課題についても視野に入れて、専門的知識・技能を身に付けることを目標とします。	7	教職論	本講習は、教育職員免許法施行規則で定められている「教職の意義及び教員の役割・職務内容に関する科目」であり、今日の自らの教師像を明確にして自己実現を図り、教職に対する情熱や使命感を高めることを目的としています。特に教職の職務内容についての認識を深め、教師に求められる資質について考察します。
3	保育内容（環境）	幼児教育の基本及び領域「環境」のねらい・内容をふまえて、乳幼児が育つ過程における「環境」に関わる側面について学ぶことを目的とします。乳幼児は周囲の様々な環境にかかわることを通して、自らの生活や遊びを広げ深めながら育ちます。そのため、保育者は幼児がより豊かな経験ができるように、また、主体的で対話的な学びや思考ができるように、園内外の自然や身近なもの、社会的な出来事や行事・情報機器などを含めた「環境」を工夫する必要があります。	8	幼児教育課程論	幼稚園教育要領を基準として、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、教育課程の意義及び編成の方法、保育の質の向上を図っていくためのカリキュラム・マネジメントの意義について理解することを目的としています。また、幼児期にふさわしい生活の展開を目指す保育のあり方を理解し、幼児の実態に即した教育課程の意義及び作成、評価の方法等について学びます。
4	保育内容（言葉）	乳幼児期の言葉の一般的な発達過程を養育・保育と関係づけて理解した上で、幼稚園の指導の支えである幼稚園教育要領における「領域 言葉」の内容についての理解を深め、それらを基盤として、様々な保育事例に触れる中で、実際の保育実践場面における望ましい言葉の指導のあり方（環境設定、児童文化、地域文化、子どもへの働きかけ）について具体的に考えられる力を身に付けます。	9	教育相談論	幼稚園教諭の行う教育相談の役割と特徴を理解し、教育相談の方法の基礎にある理論を学ぶことを目的とします。そのため、幼児期の子どもとその家庭に関する臨床的問題の実際、及び現代の教育現場における諸問題を理解します。さらに、多様な保護者や、様々な困難を抱える子どもとのつながり方・理解の仕方の原則を理解し、園内外の資源と連携しながら支援するための知識と技能を習得するために、学んだカウンセリングの諸技法等を活用した体験活動を行います。
5	保育内容 (人間関係)	幼児教育の基本及び領域「人間関係」のねらい・内容をふまえて、乳幼児が育つ過程における「人間関係」に関わる側面について学ぶことを目的とします。幼児が遊びや生活の中で、様々な感情を体験したり受け止めたりし、自己と他者の気持ちの違いに気づき、他者と関係を調整する力を身に付けていくための保育を行う力を身に付けます。	10	幼児理解と保育 実践の心理学	教員の実践力に不可欠である子どもの発達過程やそこで生じるつまずきに関する理解を深め、それに基づいて幼児の発達に応じた望ましい保育のあり方や環境設定のあり方を考え、具体的な水準で実践をイメージできることを目的とします。具体的には、幼児の発達過程に関する知識を身に付け、幼児理解を深めるための基礎的な態度や具体的な方法について理解することを到達目標とします。